

# ローヤルエンジニアリングからの挑戦状



## 【砂漠の中の『快適トイレ』を完成させよ！】

### 1. ローヤルエンジニアリングの挑戦！

ローヤルエンジニアリングは、サステナブルな環境構築のために、排水を自己処理する循環型のトイレを開発し、《上下水道未整備地域》や《山間部》、《下水放流制限区域》にこの装置を設置してきました。つまり、砂漠の中でも快適なトイレを使える技術ということです。これは、災害などでインフラが遮断された地域でも活躍できます。災害時にも水洗トイレが強く求められていることは、今年初めに起きた”能登半島地震”においても検証されています。

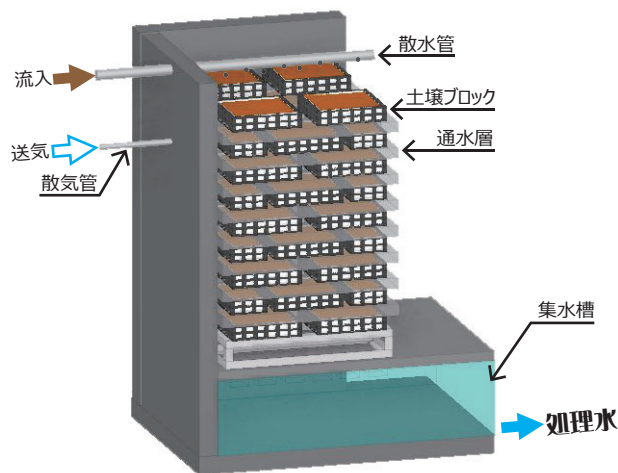


### 2. 可能性は、無限大！ この装置が目指すもの

今後、地球上で最も貴重とされる【人が活用できる水】をエンドレスに再生して使えるようにすること！  
自然災害の多い我が国においては、その災害時にも十二分に活躍することを目指しています。

### 3. この装置の心臓部と背骨の改造

この装置は、土壌により汚水を高度処理浄化しています。レンガ状に多段に積層された土壌ブロックが、この装置の心臓部です。ローヤルエンジニアリングは、多様化する設置場所のニーズに応えるべく、システムの軽量化とより高度な浄化能力を実装するためにその心臓部と背骨部分の技術改造を行いました。



### 4. 高専生への

**挑戦状**



この改造装置を

① 諸君の学校に設置 ex) トイレの遠いグラウンドなど

↓  
② 日々、トイレとして使用

↓  
③ 浄化のデータを収集

↓  
④ この改造の効果を検証

↓  
⑤ より効果的な循環型トイレへの改造 をしてもらえないだろうか！

勿論、装置はローヤルエンジニアリングが、製造し、貴校まで運搬します。  
(当然、費用はローヤルエンジニアリング持ちです。)

つまり、諸君は、トイレを使って、実証 & 技術改造を行う！ ということです。

参加を  
待ってま〜す。



快適・環境・創造会社

株式会社ローヤルエンジニアリング